

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和2年 9月30日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 10月号

TEL (351) 2314

FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

「6年生として何かしたい」その思いが学校を動かす

校長 藤田 陽子

10月24日に実施予定のふじづかスポーツフェスティバルに向け、児童、教職員が力を合わせてその準備を進めています。藤塚小だより7月号でご紹介した「6年生として何かしたい！心を一つに全校ダンス」の取組の様子についてお伝えします。

提案 ～目指すもの みんなの思い 6年生としての目標 情報収集 学校からの承認～

・感染症拡大予防のため、異学年との交流が難しい中、ふじづかスポーツフェスティバルを通じ「『心を一つに全校ダンス』に全校児童で取り組みたい」という6年生の提案を受け、活動が始まりました。

創作 ～どの曲？ どんな動き？～

・この活動の実現のために選出された6年生ダンス委員を中心に、選曲、そしてダンスの構成など、一つひとつを学級の全員で確かめながら進めていきました。特に、ダンスの動きを決めるときには「どの動きを組み合わせたらよいか。」「学年の動きとして難しくはないか。」「他の学年の動きとのバランスはよいか。」など、全校で行うダンスであることを考えながら動き、自分たちの動きを振りかえっては改善することを繰り返しました。6月から9月までの約3か月間、粘り強く準備活動に取り組みました。

全学級への動画配信 ～全校ダンスを全校に広げよう～

・6年生の思いと努力の詰まったダンス動画が完成しました。動画を全学級へ配信し、活動を全校へ広げる準備を整えました。

練習 ～みんなに覚えてもらうには？ 6年生の思いを伝えよう～

・9月25日の1時間目、全校ダンスの練習に取り組みました。6年生の動きを見ながら下級生と一緒に体を動かしました。6年生は各学年の様子に合わせて、繰り返し丁寧に動きやタイミングの取り方を教えていました。「同じ動きを楽しみながら、全校でダンスを仕上げる目標に向かって活動したい」という6年生の思いが伝わってきました。

小学校生活最後の1年間、6年生は藤塚小のこれまでの伝統を受け継いだ絆活動（縦割り活動）に取り組み、下級生と豊かにかかわりながらリーダーとしての自覚を深める体験をしたいと願っていたはずですが、しかし、彼らは今の状況を受け入れ、このような環境の中でこそできる絆活動を考え、作り上げつつあります。苦勞し、工夫しながら一步一步進んできた挑戦です。今年の6年生だからこそ作り上げられる、そして、今年の全校児童だからこそ高め合える「全校ダンス」を目指し、今後も取り組んでいきます。

10月24日本番 ～思う存分、全校ダンスをおどろう！～

